

若者が訪れる総社に

県立大デザイン学部生

飲食店や祭り 紹介マップ作成



自作のマップを発表する県立大生たち

した」「イベントのQて」「企業が商品化するRコードを付けた」なる場合、いろんな人がど工夫した点を説明し、関わる。相手の意見を素直に聞く姿勢が大事だ。

参加者からは「情報事」といった助言が寄る。正確さを第一に考えられた。（小畑誠）

総社市を訪れる若者を増やそうと、県立大

（同市窪木）デザイン

学部2年生が市内の飲食店や祭りを紹介する

マップを作った。18日

から4日間、同大デザイン学部棟1階に展示

する。見学自由。

分かれて案内マップ作りを取り組んだ。

（通称・

Sースタ、同所）の協

力で、昨年12月に市や

公益法人の職員らと学

生16人が意見交換し

りマップや、実際に距

「学生がまちに出ない」

離や所要時間を調べた

「若者のイベント参加

が少ない」といった地

披露。「丸みを帯びた

元の声を把握。5班に

字体で優しい雰囲気

を

を

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。